

地域枠等について

地域枠等の分類

いわゆる「地域枠」には、以下の通り多様なバリエーションがある。

○奨学金の有無

○実施主体

（大学・都道府県・市町村等）

○医学部定員増との関係

（政策的に実施した措置か否か）

○勤務地の限定の有無

（個別病院の指定や都道府県内の病院から自由選択）

等

地域の医師確保を目的とした都道府県地域枠（概要）

○【地域枠】（平成22年度より医学部定員増）

- 〈1〉 大学医学部が設定する「地域医療等に従事する明確な意思をもった**学生の選抜枠**」
- 〈2〉 **都道府県が設定する奨学金の受給**が要件

※入試時に選抜枠を設定せず、入学後に学生を選抜する場合もあり

※学生の出身地にとらわれず、全国から募集する場合もあり

奨学金の例

※貸与額及び返還免除要件については、各都道府県がその実情に応じて、独自に設定。

医学教育（6年間）

1. 貸与額

○月額10～15万円

※入学金等や授業料など別途支給の場合あり

○6年間で概ね1200万円前後

※私立大学医学生等には、別途加算の場合あり

(参考)全学部平均の学生の生活費(授業料含む)は

国公立大学で約140万/年、私立大学で約200万/年

出典(独)日本学生支援機構 学生生活調査(平成20年度)

2. 返還免除要件

○医師免許取得後、下記のような条件で医師として貸与期間の概ね1.5倍（9年間）の期間従事した場合、奨学金の返還が免除される。

1. 都道府県内の特定の地域や医療機関

(公的病院、都道府県立病院、市町村立病院、へき地診療所等)

2. 指定された特定の診療科(産婦人科・小児科等の医師不足診療科)

平成28年度以降、新たな
医師として地域医療等へ貢献：

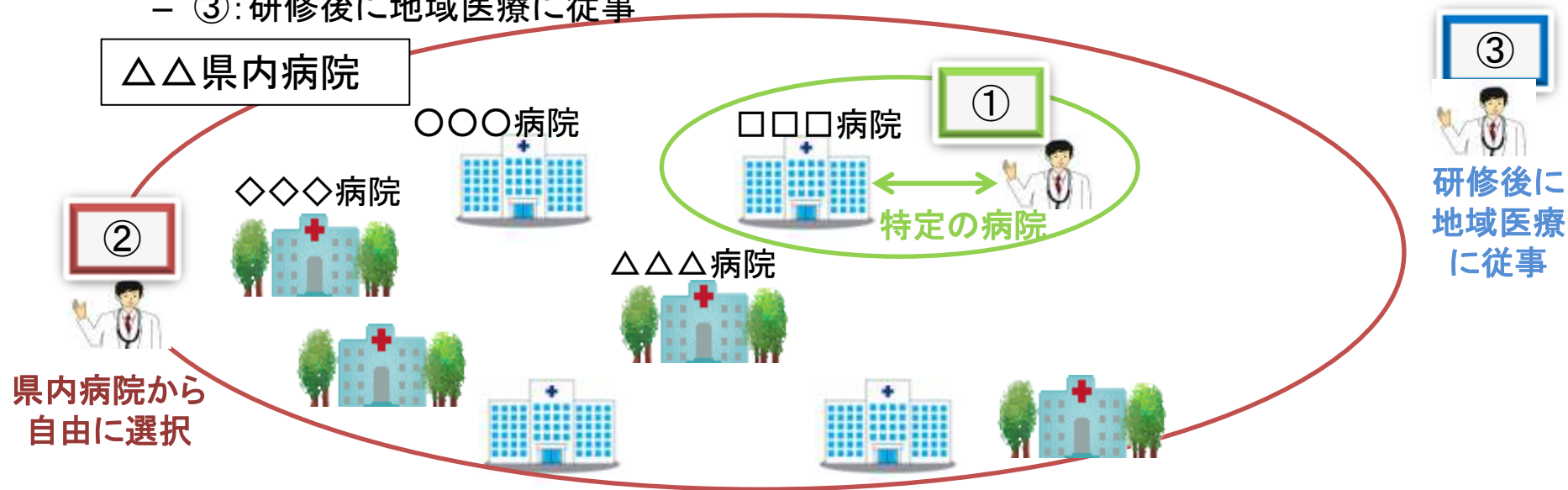
- ・平成22年度地域枠入学定員（313名）→平成28年に卒業見込み
- ・平成23年度地域枠入学定員（372名）→平成29年に卒業見込み
- ・平成24年度地域枠入学定員（437名）→平成30年に卒業見込み

地域枠等の分類と臨床研修制度

A: 卒業後の勤務条件あり

※主に、6年間奨学金を受給して卒業後、当該都道府県内の地域医療に9年間程度従事

- ①: 初期研修は、指定された特定の医療機関で実施
- ②: 初期研修は、県内の医療機関(指定された医療機関含む)から自由に選択
- ③: 研修後に地域医療に従事

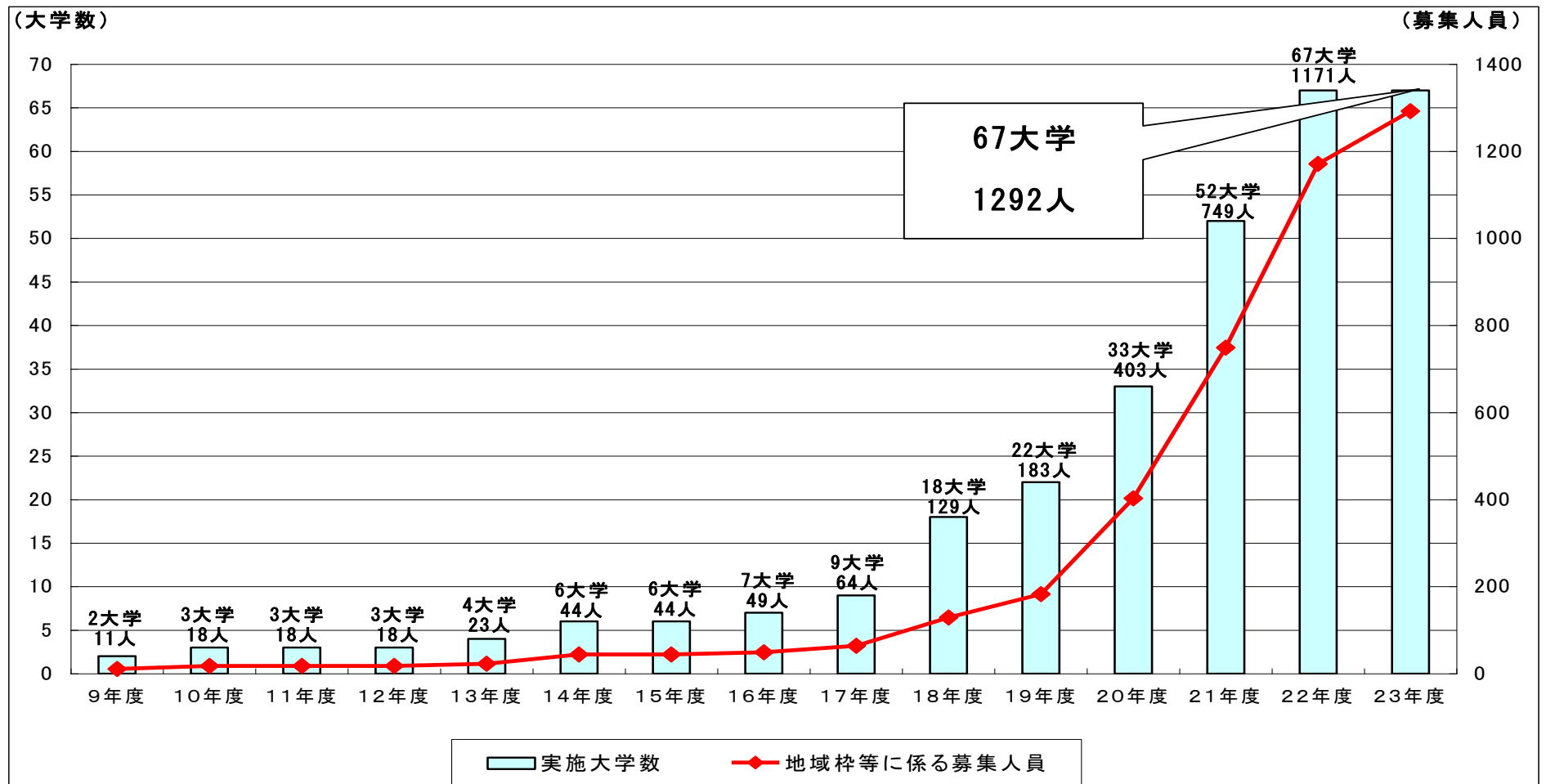


B: 卒業後の勤務条件なし

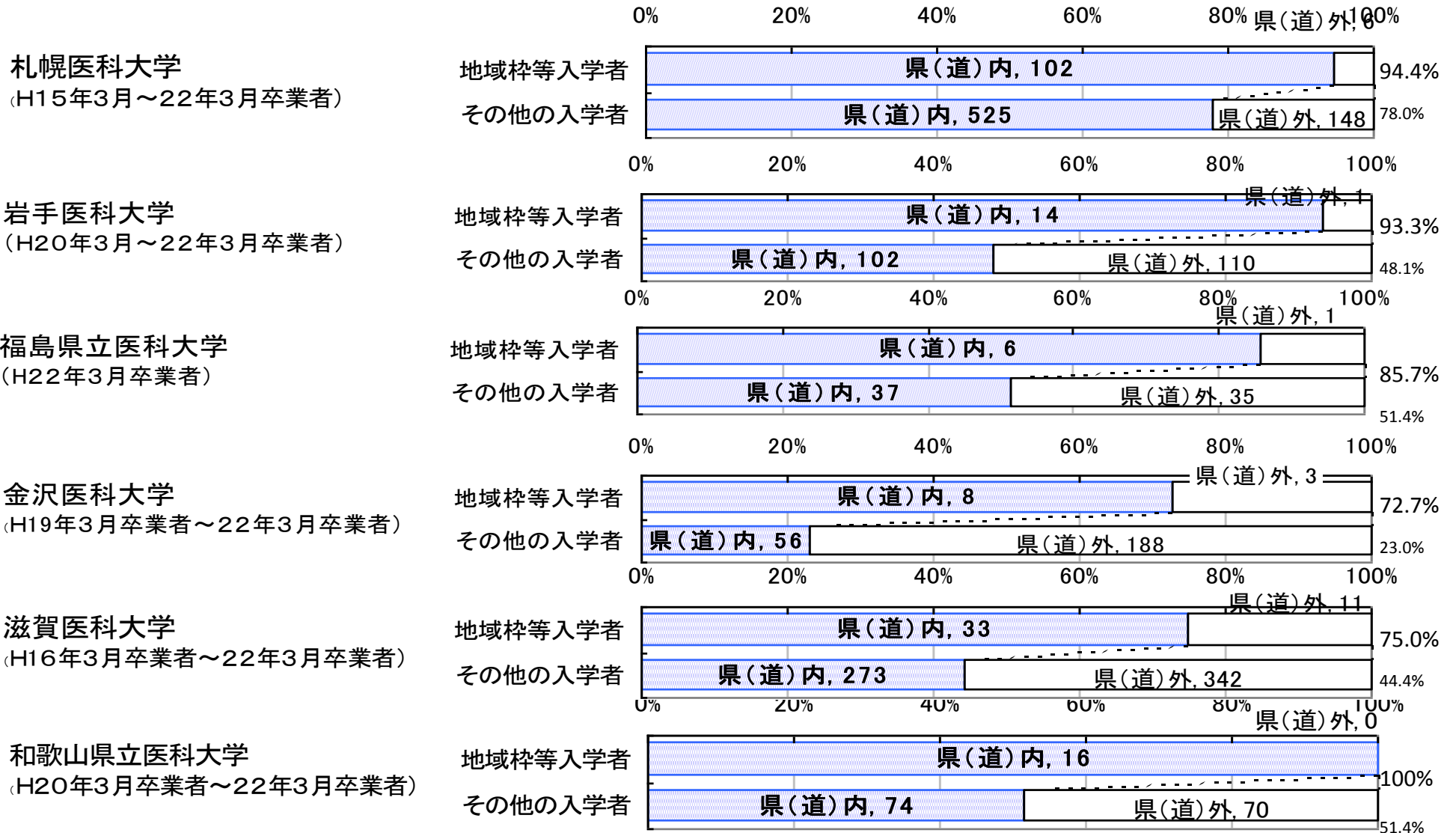
- 地元出身者のための選抜枠
 - 県内の高校出身者を対象とした入学枠
- 出身地にとらわれない地域医療に従事する入学枠等

平成23年4月現在、67大学で1,292人の、地域医療に従事する意欲のある学生を対象とした入学者選抜枠（地域枠等）を設定。

地域を指定した入学者選抜（地域枠）等の導入状況



地域枠等による入学者の方が、一般枠の入学者より、卒業後も都道府県内に残る割合が高い。
 (地域枠等による入学者が既に卒業している大学の県内定着率の平均は、地域枠等が89%に対して、一般枠は54%)



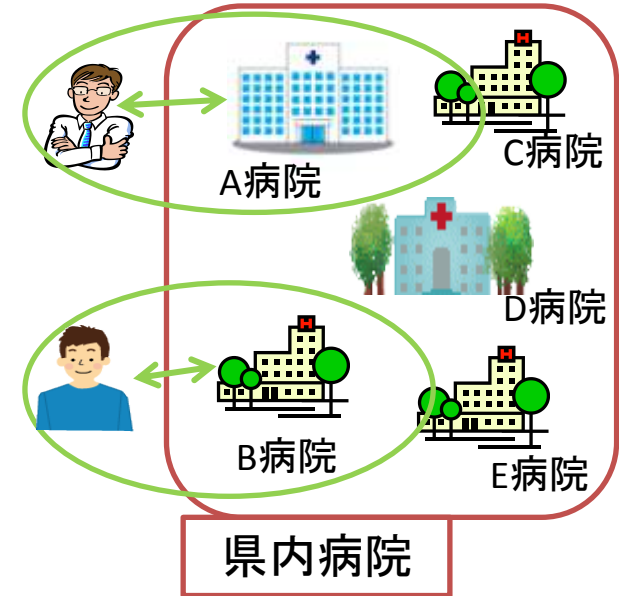
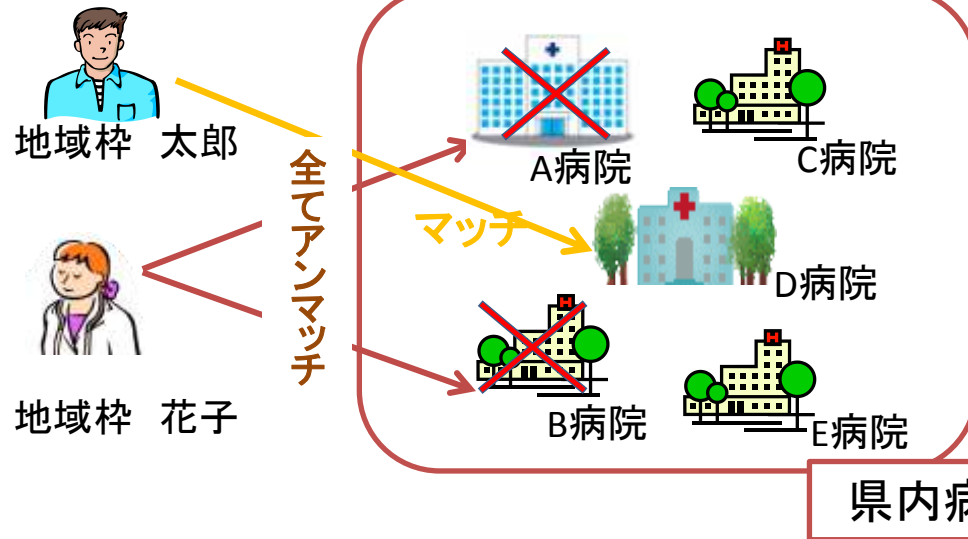
地域枠とマッチング

- ◎ 現行では地域枠学生も、マッチングに参加して臨床研修を行う病院を決定。
(一般枠学生と同様の扱い)

※例外：自治医科大学と防衛大学校

・マッチングに参加せず、研修を行う病院を各都道府県と個別に調整して決定

マッチング(現行)



学生	マッチング結果	進路
太郎	指定された研修病院にマッチ	・マッチしたD病院へ
花子	指定された研修病院にアンマッチ	・2次募集(C,E病院へ)等

※自治医科大学、防衛医科大学が対象
(マッチング前に病院を決定)

(参考)

平成23年度研修医マッチング等(平成24年度採用者)

研修希望者

研修病院

マッチング参加者
8,454人

マッチング不参加者

自治医科大卒業生
113人

防衛医科大卒業生
88人

合計 8,655人



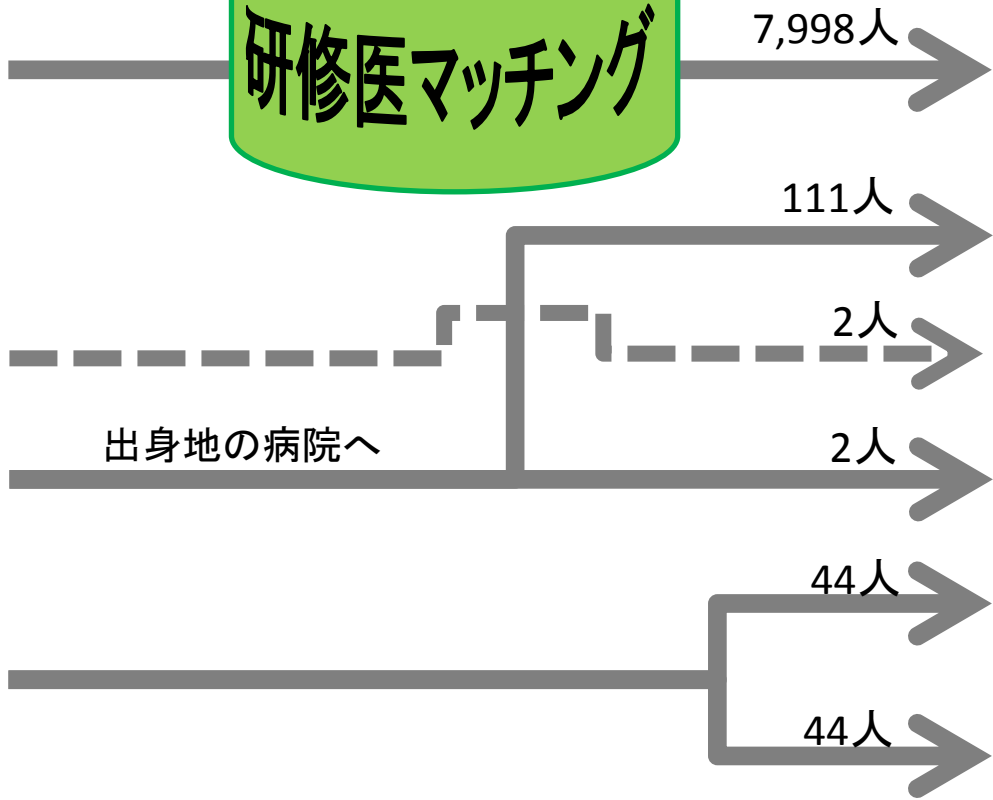
マッチング参加病院
1,021か所
(募集定員
マッチング10,550名
自治医科大111名)

マッチング不参加病院
3か所
(募集定員6名)

防衛医科大附属病院
(募集定員44名)

自衛隊中央病院
(募集定員44名)

合計 10,755名



地域枠等と募集定員

◇現行

→都道府県の募集定員の上限の算定には、地域枠も内数として算入

※他県に係る地域枠であっても、当該大学の所在都道府県の募集定員の上限に反映

